

2013年11月1日

摂南大学理工学部建築学科建築防災研究室

和歌山県すさみ町で『防災運動会』 &『避難所運営訓練HUG』を実施しました！

日時・場所：2013年10月27日（日）（9：00～15：00）・すさみ町江住地区
参加者：防災運動会22名、避難所運営訓練14名（江住地区、江須之川地区、見老津地区、里野地区の皆さん）
ファシリテータ：本学学生16名+大学院生（社会開発工学専攻）1名
協力：すさみ町役場



今回の見どころ

すさみ町は、南海トラフ地震で津波被害が予想されています。摂南大学では2011年から3年間、すさみ町の皆さんと津波避難対策に取り組んできました。今年度は「地域コミュニティの力で津波に備える！」をテーマに、「家族三世代で参加可能な防災運動会の開催」と「避難所運営訓練の実施」に取り組むことにしました。6月の津波避難場所調査に始まり、9月には避難地の整備のお手伝いをしました。また、毎回の訪問時には、楽しい防災プログラムを実施し、秋の防災運動会や避難所運営訓練への参加を呼びかけました。

『防災運動会』実施風景



「津波だー大声競争」⇒とにかく大きな声で叫びます。



「防災グッズ借り物競争」⇒防災グッズが間違っているとゴールできない？！



子ども達と避難地スタンプラリー。その後、消火訓練をしました。

『避難所運営訓練HUG』実施風景



江住小学校体育館の図面に通路を配置した様子です。次々くる避難者にパニックになります。



異なる意見が出たら、参加者同士で調整します。災害対応の「正解」は、その場で決めるしかありません。



各班の結果は、参加者で共有しました。様々な課題が出ました。

今回のプログラムにご参加頂いたすさみ町の皆様、ありがとうございました。また、当日は、とてもおいしい「炊き出し食&トン汁」をごちそう頂きました。さらに、今回のプログラム実施にあたり、すさみ町役場の皆様には多大なるご協力を頂きました。皆様に心から感謝申し上げます。

